



教育目標 信念とともに 山の如く 優しさとともに 海の如く 勇気をもって たくましく生きる
重点目標 求めて学ぶ 共に生きる 力を尽くす生徒の育成

幸せな人生を切り拓く力 ～非認知能力～

校長 小田 剛志

明日から夏休みです。一昨日の朝、登校してきた3年生の男子生徒に、「いよいよ、夏休みだね。楽しみだね。」と話しかけたら「はい。でも僕は受験生なので、勉強中心の夏休みになると思います。」と答えました。高校入試を意識して、勉強を頑張ろうとする姿勢に感心しました。

今日は、認知能力と非認知能力のお話をします。

はじめに、認知能力についてです。例えば、夏休みに英語の受験勉強として「1・2年で学習した英単語を覚える」という目標を立て、全て覚えたら、これまで忘れてしまっていた英単語の意味がわかるようになり、そのおかげでテストの点数が上がります。これは「認知能力が高まった」と言えます。3年生は1学期に数学で因数分解を学習しましたが、授業中に先生の説明をしっかりと聞いたり教科書の例題をよく読んだりして、理屈や解き方を理解し、ワークで類似の練習問題をたくさん行ったとします。そして、その後の単元別テストで因数分解の問題を全て解くことができました。これも認知能力が高まったと言えます。このようにテスト結果など数値化することができる能力を認知能力と言います。

次に、非認知能力についてです。自分は受験生だし、今、学習している因数分解は自分にとって難しいので、家でワークを使って復習しようと思い、毎日継続して取り組んだとします。受験生だし、学習に力を入れようと思う「意欲」、勉強は苦手だけど我慢して取り組む「忍耐力」、ゲームやスマホなどが楽しいと感じる時間を自ら制限する「自制心」など、数値で表すことができない能力を非認知能力と言います。授業中に因数分解の説明がよくわからなかったので先生に質問したり、友達と教え合ったりする「コミュニケーション力」「社交性、協調性、協働性」も非認知能力です。その他に、やらなければと思ってはいたけど行動に移せなかったのだから、今後、行動に移せばいいだけだと思える「楽観性」。自分なら受験の壁は越えられると思える「自尊心、自信」。自分は因数分解がわかるようになったけど、Aさんは今日も難しいって言っていたから、明日の昼休みに私が教えてあげようかなと思う「思いやり」。これらも非認知能力です。ということは、**テストの点数を上げるなど「認知能力」を高める上で、「非認知能力」が大きく関わっていることがわかります。**ちなみに ノーベル経済学賞を受賞したアメリカの経済学者、シカゴ大学のジェームズ・ヘックマン教授が「非認知能力が、その人の基礎学力、社会に出てからの労働市場の成果、例えば年収、職場における昇進などに多大な影響を与えている」ことを立証し、その重要性が注目されるようになりました。大雑把に言えば、**社会に出て役立つ力は認知能力以上に非認知能力だということ**です。

夏休みに受験勉強を頑張ろうと思っている3年生の皆さん、先生やお家の人にきつく言われて渋々勉強しているようでは非認知能力の高まりは期待できません。自分で目標をもち、その達成のための計画を立て、時には自ら進んで学校の先生、友達、家族の力を借りながら、地道に努力を続けることが大切です。

全校生徒の皆さん。1学期を振り返るとき、学習で言えばテストの点数や成績、部活動で言えば大会結果など数値で見えることに終始せず、数値では表せない「非認知能力」の視点でぜひ振り返り、今後、伸ばすように努力してください。

(7月24日全校朝会より)

全国学力・学習状況調査（3年生）の結果について

4月に全国の中学3年生を対象に行われた全国学力・学習状況調査の結果をお知らせします。

今年度の調査内容は、強化に関する調査（国語・数学の2教科）と学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査でした。

1 学力調査の結果から

全国、新潟県の平均正答率は以下の通りです。

	国語	数学
全国（公立） 平均正答率（%）	58.1	52.5
新潟県（公立） 平均正答率（%）	57	50

山北中学校は、国語が全国や県を下回り、数学が全国や県を少し上回る結果でした。

各教科の問題を内容別に見ると、国語では「文法」数学では「数と式」課題であり、どちらも記述で解答する問題を苦手としてることが分かりました。

2 生徒質問紙の結果から

(1) 家庭学習の時間について

山北中学校の生徒は、学校評価アンケートの結果からも分かるように、家庭学習の時間に関しては平日、週休日ともに、1～2時間行っている生徒の割合が最も高いことが分かりました。全国、県と比較すると、「30分未満～全くしない」生徒の割合は低いのですが、2時間以上学習している生徒の割合も低いことが分かりました。

(2) 一人一台端末（クロームブック）の活用について

市から貸与されているクロームブックにおける活用について、授業中においても、家庭学習においても全国、県に比べて低いことが分かりました。授業において「自分の考えや意見を分かりやすく伝えること」「友達と考えを共有したり、比べたりすること」「友達と協力しながら学習を進めること」においてクロームブックの効果的な活用できているかという質問に全国や県の生徒は「とてもそう思う」と回答している生徒が多く、山北中学校の生徒は「そう思う」と回答している生徒が多いことが分かりました。

(3) 家庭におけるゲームの使用、及び、SNSの使用について

家庭での「ゲームをする時間」において、平日2～3時間行っている生徒の割合が最も高いという結果でした。全国や県と比べて4時間以上行っている生徒の割合は低いですが、1時間より少ない生徒の割合も低いことが分かりました。

また、「携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか」という質問に対し、「携帯、スマホ、PCはもっているが、約束はない」と回答した山北中学校の生徒が3割以上いて、全国や県と比べても非常に高い割合になります。

3 確かな学力の育成に向けた今後の手立て、具体的な取組について

(1) 以下のような学習活動の充実を図るために、生徒が使用するクロームブックの実効性を高める授業改善に努めます。※校内研修を充実させ、授業改善を促進します。

①協働的な学び（生徒間での意見交換、情報共有、教え合い）、自己表現（自分の考えをまとめる、深める、創意工夫を凝らす）、調べる等

②動画視聴等を活用した生徒にとって魅力的な学習活動

(2) デジタル教材（ドリルパーク）を活用し、生徒が効果的な家庭学習に一定時間取り組めるように日常的に宿題を課します。ドリルパークのベーシックについては教科書やワークと同様に、計画的に取り組みせて、年度末に全て終わらせるようにします。

【保護者の皆様へ】

お子さんのご家庭でのゲームや携帯電話・スマートフォン等におけるSNS（LINE, You Tube, Tik Tok等）の使用について、**家でのルール（時間や使用場所、ルールを守れなかったときにどうするかなど）を決めて、見守りを行う**ようお願いいたします。学校でも節度をもって利用するように生徒に働きかけます。

1学期の学校評価について

【生徒アンケート】

A：あてはまる B：ややあてはまる C：あまりあてはまらない D：あてはまらない 数値：%

		A	B	C	D	
知 育 の 分 野	授業では「学ぶ楽しさ」や「わかる・できる喜び」を実感しましたか。	44	43	11	2	
	I C T機器を活用し、学習内容の理解を深めることができましたか。	53	42	5	0	
	授業で課題に対して主体的に取り組んでいる。	47	50	3	0	
	授業の振り返りで、自己の変容や学びの価値を自覚できている。	34	56	10	0	
	毎日のプランニングを通して、学習とメディアのバランスがとれた生活ができるようになった。	18	48	28	6	
		120分以上	90～120	90～60	60～30	30分未満
	平日の家庭学習の時間	5	26	38	18	13
	休日の家庭学習の時間	18	24	29	21	8

- 授業での『学ぶ楽しさ』『分かる喜び』の実感において、全教科の平均の肯定的評価が87ポイントで、全教科で80ポイントを上回りました。どの学級のどの教科においても学習規律を守り、落ち着いた雰囲気の中で授業が行われていること、学習課題に対して真剣に取り組むことができていることがベースとなっていると考えます。今後も継続するように努めます。
- 「毎日のプランニングを通して、学習とメディアのバランスがとれた生活ができるようになった」において肯定的評価が66ポイントと低い結果でした。プランニングの時間における教職員の見取りや支援に甘さがあったと考えます。2学期早々に全校集会を開催し、プランニングの意義を伝えるとともに、日頃からきめ細かく見取り、個に応じた指導に努めます。

		A	B	C	D
徳 育 の 分 野	委員会・部活動・行事・学級活動などで、人の役に立つ経験をした。	37	53	10	0
	誰に対しても挨拶がしっかりできている。	47	47	6	0
	道徳の授業では、話し合った内容を、自分のこととして考えることができた。	48	45	7	0
	自分にはよいところがある。	21	55	22	2
	将来の夢や目標（高校の進路など）をもっている。	33	33	21	13
	学校生活は楽しい。	56	35	7	2
	いじめや人間関係のトラブルに、教職員がすぐに相談に乗ってくれたり、相談しやすい雰囲気である。	35	45	15	5
	誰とでも良好な人間関係ができている。	40	50	10	0
	思いやりをもった行動を心がけている。	45	55	0	0

- 「委員会活動・部活動・行事・学級活動などで、人の役に立つ経験をした。」における肯定的評価が90ポイントという結果でした。部活動はもちろんのこと、日々の清掃やチャレンジウォークなどの学校行事において、異学年による小集団（縦割り班）で構成されていたことが自己有用感の高まりに効果的だったと考えます。今後も異学年による集団での活動に意図的に取り組ませていきます。
- 「いじめや人間関係のトラブルに、教職員がすぐに相談に乗ってくれたり、相談しやすい雰囲気である。」において「あまりあてはまらない」「あてはまらない」と回答した生徒の割合が20ポイントと高いことが分かりました。今後、担任に限らず、全教職員で注意深く見取り、積極的に声かけを行います。また、生徒へも「相談しやすい教職員に相談すること」を働きかけるとともに、スクールカウンセラーを効果的に活用していきます。

体育 の 分 野	全校ランに積極的に取り組んでいる。			A	B	C	D
		毎日食べる	ほぼ毎日食べる	時々食べる	あまり食べない	食べない	
		朝食を毎日食べている。	72	18	5	3	2
			1時間未満	1～2時間	2～3時間	3時間以上	
		平日のメディア視聴時間はどれくらいか。	3	41	44	12	
			8時間以上	7～8時間	6～7時間	6時間未満	
	睡眠時間はどのくらいか。	15	53	32	0		

- 「全校ランに積極的に取り組んでいる。」における肯定的評価が89ポイントでした。実際に生徒は真剣な態度で取り組んでいました。今後も、取組を継続し、体力の向上に努めます。
- メディアの視聴時間が長いことが課題です。制限無くメディアを視聴すると、家庭学習、睡眠時間、毎日朝食をとることなどに悪影響を及ぼす可能性もあります。山北中学校では自制心をもって生活し、メディアの視聴時間を2時間以内にするように働きかけを行います。

【保護者アンケート】

- A：そう思う（とてもよい） B：どちらかというと思う（どちらかというといよい）
C：どちらかというと思う（どちらかというとい悪い） D：そう思わない（悪い） 数値：%

	A	B	C	D
お子さんは授業が「分かる」と言っている。	20	54	20	6
お子さんは意欲的に家庭学習に取り組んでいる。	17	46	30	7
お子さんは家庭学習の習慣が身に付いている。	20	50	22	8
お子さんは学校生活に達成感や成就感を感じている。	15	56	20	9
お子さんは挨拶がしっかりできている。	17	52	24	7
お子さんは学校が楽しいと言っている。	24	52	15	9
お子さんは体力向上に向けて、全校ランや部活動など運動に努めている。	58	35	15	2
お子さんはメディアコントロールウィークなどの取組を通して、生活習慣の改善に努めている。	9	39	43	9
お子さんは朝食を毎日食べている。	70	15	11	4
お子さんは睡眠時間を十分にとっている。	22	43	33	2
お子さんは誰とも良好な人間関係を築いている。	27	53	16	4
お子さんは思いやりのある言動ができている。	28	63	7	2
山北中学校は生徒の様子をたより等で伝えている。	35	61	4	0
山北中学校は保護者に誠意をもって対応している。	22	59	15	4

日頃より、山北中学校の教育活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。上記のように、今後、知育、徳育、体育ともにアンケート等を参考に改善に努めて参ります。また、保護者の皆様には家庭でのゲームやSNSの使用に関する家でのルールを決めていただくお願いもいたしました。生徒の健やかな成長のために、今後も学校と家庭との連携を大切にして参ります。何卒、よろしくお願いたします。

～今後の予定～

8月26日(月)～30(金) 5限授業	9月10日(火) 新入生体験入学
28日(水) メディアコントロールウィーク～9/3	学校預かり金引き落とし日
教育相談期間(45分授業)～9/12	13日(金) 体育祭強調週間～9/27
9月6日(金) 3年単元別テスト(50分授業)	24日(火) 秋の交通安全運動～9/30
9日(月) 貧血検査13:30	28日(土) 体育祭 30日(月)振替休業日